



全国各地でクマの出没が相次いでおり、奥出雲町でもクマの目撃情報が寄せられています。クマは本来、臆病でおとなしい動物。クマの習性を正しく知り備えることで、遭遇の危険を減らすことができます。自分や家族の安全を守るため、クマへの対策を確認しましょう。

①クマってどんな動物？

食べ物 春／タケノコ、ハチミツ、若葉など 夏／サクラランボ、アリなど 秋／ドングリ、カキなど	生態 冬は岩穴や木のうろなどで冬眠します（12月～3月頃まで）	性格・能力 足が速い 時速約40～50kmで走ることも
種類・大きさ 種類／ツキノワグマ（本州・四国に生息） 全長／約110～150cm 体重／約40～130kg	木登りが得意 鋭い爪で手足を器用に使う	視力はあまりよくない
臆病で、おとなしい なるべく人に会いたくない	学習能力が高く、耳と鼻がとても良い 優れた嗅覚（犬並み） 優れた聴力（特に高音） （特に高音） 美味しい食べ物は覚えており執着する	親離れしたクマが棲む場所を探して動き回る（春～夏）

②なぜ里で目撃されるの？

食べ物をさがして山から降りてくる

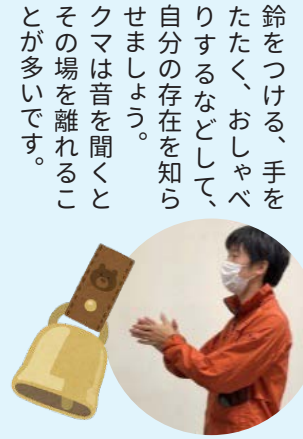
オスがメスを探して動き回る（春～夏）

親離れしたクマが棲む場所を探して動き回る（春～夏）

見通しの悪いヤブや耕作放棄地が増え、クマが里に近づきやすくなっている

③クマに出会わないために

音を鳴らす



鈴をつける、手をたたく、おしゃべりするなどして、自分の存在を知らせましょう。クマは音を聞くとその場を離れることが多いです。

複数人で行動する

クマが人に気づきやすくなり、人もクマの存在に気づきやすくなります。



時間に気を付ける

クマは薄暗い時間や夜に動くことが多いので、朝夕、夜は特に気を付けましょう。



④クマに出会ってしまったら…

①クマが遠くにいて気づいていない場合



そっと立ち去る

②クマが人に気づいている場合



目をそらさず、後ずさりをする。背中を見せて逃げると追ってきます

③襲われた場合



頭、首、お腹を守る！（防御姿勢）

農業振興課からのお知らせ

クマを人里に近づけないために、ご協力をお願いします

畑に電気柵をしたり、果樹にトタンを巻き、クマに食べられないように対策をする。



誘因物（エサとなる果樹等）を置いておかない。

・収穫した柿や栗などを野外に放置しない。
・お弁当ガラや生ごみは必ず持ち帰る。
・においの出るものを屋外に放置しない。



放任果樹の伐採をしましょう。

管理されていない柿や栗の木や、収穫されずに実が残った果樹は、クマを呼び寄せる原因になります。伐採を含めた対策を検討することが重要です。



伐採を検討される際は役場農業振興課までご相談ください。国の交付金を活用することができます。



クマを目撃した場合は役場へご連絡ください

【連絡先】 農業振興課 電話：52-2679